

ヤブツバキ

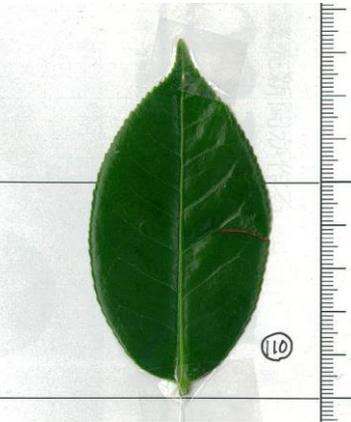
【区画⑩(110)】

学名	<i>Camellia japonica</i> L.	分類	ツバキ科ツバキ属
分布	本州～沖縄	樹高	3～8m程度の常緑高木

〈特徴等〉

名前の由来	・(椿の由来は「厚葉木」, 「艶葉木」が転訛したとされる。)		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	・晩秋～春に, 赤い鮮やかな花を開く。		
結実等	・直径4cm前後の光沢のある果実をつける。果実からは椿油がとれる。		
その他	・同属のサザンカに似ているが, ヤブツバキは葉が大きく, 葉柄や枝に毛が生えないことで見分ける。		

〈写真〉

		
樹木 (4/3)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (4/3)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 925.

林 将之 (2018) 『葉で見わける樹木 増補改訂版』小学館, p. 72.